

施策	26	スポーツの振興	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり		
施策主管課	生涯学習・スポーツ課	課長名	赤羽目金利	内線	3730	政策担当部長名	教育次長 三浦伸一
施策関係課名	公民館、学校教育課、保健課						
重点施策	関連計画	飯田市教育振興基本計画、地育力向上連携システム推進計画、地域健康ケア計画					

1 施策の目的

目的	対象	市民
	意図	日常的にスポーツに親しむ スポーツ振興の担い手になる

2 現状把握

(1)対象指標、成果指標の状況

対象指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	見込み 28年度
住民人口	人	105,691	105,335	104,728	103,947	103,105	102,446	102,000
成果指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標 28年度
成果指標の設定の考え方は別ワークシートにて整理								
週1回以上ウォーキングやスポーツを行っている市民(成人)の割合	%	37.8	34.6	37.3	38.1	38.8	36.0	40.0
スポーツ指導者数	人	-	926	927	929	932	938	930

(2)成果向上に向けての役割分担

主体	役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	23年度 実績	24年度	25年度	26年度	目標 28年度
行政	市(国・県) スポーツ事業を企画実施する スポーツ施設環境を整備する スポーツ指導者を育成・派遣する スポーツ活動を支援する	スポーツ事業、講習会の開催回数及び参加者数	123	137	138	137	120
		社会体育施設の利用者数	7,487	7,988	8,078	7,281	8,200
		スポーツ事業へのスポーツ推進委員の派遣者数、指導者養成のための講習会等の回数(延数)	934,257	971,552 1,003,869	954,184 1,007,302	919,496	950,000
			145 6	143 5	122 5	115 5	160人 7回
主体	役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	役割発揮の特記事項				
市民等	個人	ウォーキングやスポーツ活動を実践する スポーツを観戦する	・生涯スポーツ分野では、20地区の公民館及び103集落の公民館分館で多様な体育事業が行われているとともに、約220の社会教育関係団体がウォーキング、ニュースポーツ、健康体操等々の教室活動を展開している。民間事業者のフィットネスジム等も市民の体力維持・向上の場となっている。 ・競技スポーツ分野では、25の競技団体が加盟する(公財)飯田市体育協会、22団体が加盟するスポーツ少年団、約500の社会教育関係団体が、多様な競技種目の普及・推進を行っている。民間スイミングクラブ等も競技力向上の場となっている。 ・24年4月より、飯田市体育協会が公益財団法人となり、競技力向上と生涯スポーツの振興に関する公益事業を民主導で展開するための組織体制が強化された。				
	地域的団体(公民館活動含む)	気軽にウォーキングやスポーツに親しめる「場」を提供する スポーツを通じた良好な人間関係づくりを進める					
	体育協会	競技スポーツを振興する 各種スポーツ事業を企画実施する(大会、講習会、講演会)					
	事業者	企業内スポーツを推進する 各種スポーツ事業を支援する					
		企業内スポーツ団体数 市主催のスポーツ事業への共催・後援・協賛企業数 民間スポーツ事業者数					

3 平成26年度の評価結果

(1)実施した事務事業の評価(取組みの状況評価)

計画どおり取り組めた
おおむね計画どおり
あまり取り組めなかった
達成できなかった

(2)施策全体の評価(外部要因も含めた総合的な評価)

進んだ
ある程度進んだ
あまり進まなかった
進まなかった

4 平成26年度の取組概要と評価(成果や課題、その要因)

【施策全体の評価】

・スポーツ推進委員協議会や(公財)飯田体育協会などの多様な主体と協働して、日常生活で幅広い年齢層が気軽に楽しめるウォーキングやニュースポーツ等の運動の普及推進に重点をおいた取組を行った。また、子どもから高齢者まで、誰でも楽しく運動能力を高めることができるコーディネーショントレーニングの教室開催や指導者育成を進めた。成果指標の週1回以上スポーツを行っている成人の割合は横ばい傾向が続いており、いつでも・どこでも・だれでも気軽に取組めるスポーツを推進し、習慣化を図る必要がある。

【事務事業群テーマ別の評価】

<スポーツ施設の整備・維持管理>

・施設改修計画と緊急性、安全性を考慮して、総合運動場第2種公認陸上競技場認定対応工事やアクアパーク改修工事などの社会体育施設等の整備、修繕を行った。
・アクアパーク及び市民プールについて、平成27年度から指定管理者制度を導入することとし、プロポーザル方式により民間業者を募集し、選定審査を行い、指定管理者を決定した。
・社会体育施設及び県営運動場の施設について、法令等で定められた保守点検業務等を適切に実施し、維持管理を行った。また、施設利用者の利便性の向上を目的に、平成27年度から公共施設予約システムを導入することとし、その準備を進めた。
・当市のスポーツ施設は30年以上経過する施設が6割を占め、改修、修繕を必要とするものが多くなっている。

<ウォーキングの普及推進>

・スポーツ推進委員協議会、公民館、保健課と連携し、ウォーキング講座を9地区で16講座、ウォーキング事業を19地区で49事業開催し、地域レベルからウォーキングの普及に取り組むとともに、全市民対象のウォーキング講座と歩くことで子どもたちの豊かな心・生きる力を育てる「歩育」の講座を継続実施し、ウォーキングを始める契機とした。
・歩くまちづくりの象徴事業として開催した第28回飯田やまびこマーチでは、「歩育コース」の新設やノルディック・ウォークの体験コース・講習会を実施し、幅広い世代が楽しめる新たなウォーキングスタイルの提案、普及を行った。
・市民の日常生活におけるウォーキングの普及・促進につなげるため、4月・5月・10月をウォーキング推進月間と定め、市民への広報活動やウォーキング事業を実施した。

<参加しやすい事業の実施>

・多様な主体と協働して、第28回やまびこマーチ、第30回60歳以上ソフトボール大会、ニュースポーツフェスティバルを開催し、市民約3,800人が参加した。第60回の記念大会として「まちなかコース」を復活させる計画であった風越登山マラソン大会は、荒天のため中止となった。

<スポーツに親しむための意識啓発>

・公民館、小中学校などと連携して、誰でも気軽に親しめるニュースポーツやウォーキングなどの普及を中心に地域レベルで講習会や交流会などを実施し、意識啓発に取り組んだ。
・市体育協会と連携して、スポーツに親しむための意識啓発の取り組みとして講演会や教室などを開催した。
・積極的にスポーツをする子どもとそうでない子どもの二極化が進んでいる。生涯にわたる心身の健康づくりの視点からも、子どもたちがスポーツに親しみ、スポーツが「うまくできるようになる」喜びや楽しさを感じ、スポーツをする意欲を高めていく取組が必要である。

<スポーツ指導者の育成>

・体育協会と協働して、子供の運動能力の向上、高齢者の脳と体の活性化につながる教室事業の展開を図るため、コーディネーショントレーニングの指導者育成事業を継続開催するとともに、この取組を通じて設立された指導者組織(飯田市コーディネーショントレーニング実践研究会)の事業運営を支援した。
・スポーツ推進委員と公民館関係者を対象にウォーキング指導者育成講座を実施し、指導体制づくりを図った。
・青少年期のスポーツ活動において、スポーツ指導者が指導上特に配慮すべき基本的な事項についてまとめた「飯田市社会体育活動における青少年スポーツ指導の指針」を策定し、学校やスポーツ指導者等に活用いただけるよう配布した。
・競技種目や地域によっては、適切な指導ができる指導者が不足している状況がある。

5 上記を踏まえて、今後は、どのように対策を実施していきますか

< 施策全体 >

・スポーツ行政を総合的に推進していくための指針として、スポーツ推進計画を策定し、市民、地域、スポーツ関係団体、学校、行政などが共通に認識することで、飯田市のスポーツ推進の充実を図る。

< スポーツ施設の整備・維持管理 >

・公共施設マネジメント基本方針に沿って、スポーツ施設の現状把握及び課題の整理を行い、施設改修の優先順位の明確化し長寿命化に向けた計画的かつ効果的な改修計画を立てる。併せて施設の利用状況等を考慮し、統廃合など施設のあり方について検討を進める。
・サービス向上と効率的な体育施設の運営管理を目指し、引き続き指定管理制度導入など管理運営方法の検討を進める。

< ウォーキングの普及推進 >

・地区公民館やスポーツ推進委員と連携し、指導者育成の継続と参加しやすいウォーキング講座の開催等により、地域主体でウォーキングの普及を図る。また、ウォーキングの成果の確認や習慣化するコツなどを内容とした「運動習慣化支援教室」の開催や意識啓発に重点的に取り組む。

< 参加しやすい事業の実施 >

・第61回の風越登山マラソンは、魅力のあるものとするよう、県合同庁舎からスタートする「まち中コース」を復活させる。
・スポーツ推進委員が中心となって、各地区公民館で、子どもから大人まで、運動が苦手な方でも気軽に楽しめるニュースポーツの体験会等を開催する。

< スポーツに親しむための意識啓発 >

・市内小学校1校の「体づくり運動」の授業にコーディネーショントレーニングのプログラムを導入するモデル事業を実施する。
・トップレベルのスポーツに身近に触れられる機会をつくる。
・各校の工夫した「一校一運動」の取組を支援する。

< スポーツ指導者の育成 >

・市体育協会、スポーツ少年団、公民館などと連携して、「社会体育活動における青少年スポーツ指導の指針」をスポーツ指導者、保護者、スポーツ関係者に周知するとともに、指導者講習会等のテキストとして活用することで指導者の資質向上を図る。
・市体育協会と連携し、公認スポーツ指導者の資格取得を促し、「指導者人材バンク」の充実を図る。
・コーディネーショントレーニングの普及を目的に公立保育園の保育士を対象とした講習会を開催する。

6 平成26年度事務事業 施策系統図

目標

施策2-6

対象
市民

意図

日常的にスポーツに親しむ
スポーツ振興の担い手になる

成果指標

週1回以上ウォーキングや
スポーツを行っている市民(成人)
の割合

スポーツ指導者数

スポーツ施設の整備・維持管理

ウォーキングの普及推進

参加しやすい事業の実施

スポーツに親しむための意識啓発

スポーツ指導者の育成

事務事業

体育施設維持管理事業

体育施設改修事業

社会体育施設大規模改修事業

社会体育学校開放事業

社会体育学校開放施設整備事業

ウォーキング普及・推進事業

やまびこマーチ開催事業

風越登山マラソン大会事業

60歳以上ソフトボール大会

生涯スポーツ推進事業

スポーツ推進委員活動事業

飯田市体育協会運営支援事業

保健体育事業負担金

保健体育運営事業